

JA みねのぶ



J A女性部が花プランターを作って J A建物出入口に設置
(6月8日 営農事務所前)

■発行日/令和2年7月1日/No.1419号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

米・麦・大豆の 出荷契約終える

今年収穫される米・大豆等と来年収穫する小麦の出荷契約推進が6月1日から8日間にわたり行われました。

職員が10班体制で、それぞれの担当の組合員宅を訪問し契約内容を説明しました。

訪問先の組合員の皆さんには農作業を中断して早朝、夕方などに時間を作つていただきましたことを厚く感謝申し上げます。今後は一俵でも多く出荷いただけるよう努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

第1回監事監査終わる

本年度の第1回目の監事監査が、4月末日を基準日として6月22日から3日間の日程で高田代表監事が以下3名の監事により執行されました。

監事監査の実施は一事業年度において四半期毎に年間4回が計画されていて、今回は本事業年度で最初の監査となります。総会で議決された本年度の事業計画に対し四半期毎に本年度の計画並びに前年度実績と対比し事業の進捗状況

を確認し合わせて会計処理の適正等も監査が行われます。

最終日に、高田代表監事から常勤理事、幹部職員に対し監査講評が行われました。

第5回(6月)定例理事会の開催

6月25日開催の第5回(6月)定例理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 大豆乾燥調製貯蔵施設改修工事の実施について
2. 令和2年度クミカン取引に係る階層区分の設定について
3. 諸規程の一部変更について
4. 持分の減口について

JAみねのぶ祭の中止について

JAみねのぶ祭は、毎年8月の最後の日曜日に開催していて昨年の開催で29回を迎えたが、本年の開催につきまして新型コロナウイルス感染症の収束を待ち、開催の検討をしてまいりましたが、感染拡大及び開催する組合員、来場者の皆さまの安全確保を最優先に考えた結果、今年のJAみねのぶ祭は中止といたします。

今後も引き続きご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(JAみねのぶ)

おくやみ申し上げます

望月 多津子さん (92歳) 5月27日
草野 悅和さん (75歳) 6月8日

美唄市光珠内町南
浦賀の人、飯高六蔵は、多弁の癖があつた。暇乞いをして国に帰ろうとするときに、翁はこの様に諭された。そなたは、國へ帰つたならば、決して近なことだ。もともと己の心の内話しだ。意見する心は、そなたの道心だ。意見される心は、そなたの人心だ。この人心と道心とは、寝ても覚めても、座ついても歩いていても、離れることはないのだから、行住坐臥、油断なく意見するがよい。もし己が酒を好めば、多く飲むのをやめよと意見するがよい。すぐさまやめればよし。やめなければ幾たびも意見するがよい。そのほか驕奢の念が起きたときも、安逸の欲が起きたときも、

一報徳

商道の本意を守れ

浦賀の人、飯高六蔵は、多弁の癖があつた。暇乞いをして国に帰ろうとするときに、翁はこの様に諭された。そなたは、國へ帰つたならば、決して近なことだ。もともと己の心の内話しだ。意見する心は、そなたの道心だ。意見される心は、そなたの人心だ。この人心と道心とは、寝ても覚めても、座ついても歩いていても、離れることはないのだから、行住坐臥、油断なく意見するがよい。もし己が酒を好めば、多く飲むのをやめよと意見するがよい。すぐさまやめればよし。やめなければ幾たびも意見するがよい。そのほか驕奢の念が起きたときも、安逸の欲が起きたときも、

みな同様に意見する。百事この様に自ら戒めることが、無上の工夫なのだ。この工夫を積んで、己の身が修まり、己の家がととのつたならば、それは己の心が己の心の意見を聞いたことになる。そうなった時には、そなたの説くことを聞く人もあるだろう。それは、己が修まつて人に及ぶからだ。己の心で己の心を戒めて、己が聞かなるようならば、決して人に説いてはならぬ。

また、そなたは家に帰つたら商業に従事するのだろうが、土地柄といふといい、家代々の職業柄といい、最も適切だと思う。けれども、売買をしても決して金を儲けようなどと思つてはならぬ。ただ商道の本意を勤めるがよい。商人たる者が商道の本意を忘れたならば、眼前は利益を得ても、とどのつまりは滅亡を招くほかはない。よく商道の本意を守つて勉励すれば、財宝は求めないでも集まつてきて、どこまで富み栄え、繁昌するか、量り知れない。この事を決して忘れるでない。

(夜一四四)



作業中の女性部の皆さん

「花いっぱい運動」は、色とりどりの花を植え、峰延地域の景観環境美化のために奉仕活動として毎年この時期に行っています。花プランターは、花を一つ一つ鉢からプランターに丁寧に替え替えて作りますが、色のバランスを

J A 女性部が「花いっぱい運動」で J A 建物に花プランター設置

考慮しながら作っていました。

J A 女性部が「花いっぱい運動」で J A 建物に花プランター設置

6月8日、J A 女性部（部長 吉村俊子）の皆さんのが集まり、J A 建物等の出入り口に花プランターを設置しようと、当 J A 営農事務所前で花プランター作りを行いました。

花プランターの設置場所は、営農事務所の出入口、営農資材店舗の出入口、J Aみねのぶ店の出入口に各2基、本部事務所出入口に1基、市内外から来客がある給油所には4基を設置、合計11基を設置しました。



研修会開催前に挨拶を述べる森川組合長

JAにお越しの際は ご覧にな つて下さい。

職員コンプライアンス 研修実施

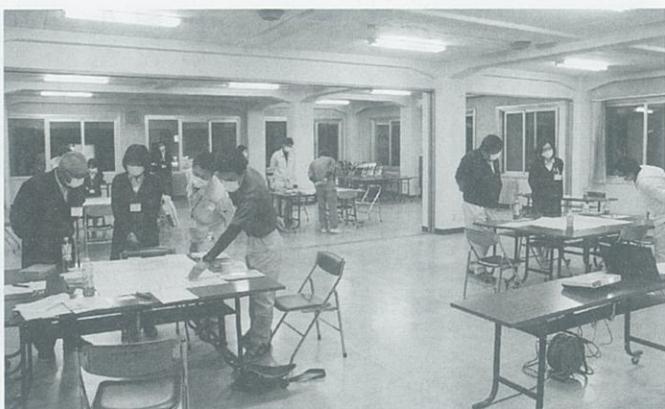
職員コンプライアンス

ラジオ
研修実施

職員はいずれかに参加し、営業時間終了後の17時30分から19時30分までの2時間です。

講師にJA北海道中央会岩見沢支所長の津村氏、次長の古川氏林主幹を招き、昨年起きた不祥事件再発防止策の一環として、職場風土の改善・働きがいのある職場づくりを行うために、本年1月に実施した当JA全職員に対するアンケート結果を参考に全職員が参加して職場のあり方と職員の心構えを検討する研修です。

全職員の研修終了後は、役職員行動規範の一部の制定に取り組み



いずれの日の研修も職員は熱心に検討

今年のハスカツ狩りは中止

毎年6月下旬から開催している
ハスカップ狩りは、峰延ハスカツ
プ生産組合（高橋 廣組合長）の觀
光農園部会が収束の兆しが見えな
い新型コロナウイルス感染症に關
して開催の検討を行い、様々な影
響を勘案し今年の開催は困難と苦
渋の決断をしました。

新規就農後継者4名に
激励状贈呈

令和2年6月12日、当JAの3階会議室で新規就農者激励状贈呈式を開催致しました。例年は4月常会で農事組合長さんに紹介して行つてきましたが、本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により常会が中止となつたため、今回実施することとなりまし

J A職員としてふさわしい行動を明確にし、後日配付するコンプライアンスカードの内容への理解度・納得感を高くし行動を徹底しようというものです。いずれの研修日も職員約20名が参加し4班に分かれて行動規範とするまとめ等を熱心に検討していました。



吉村 恒さん
昭和61年8月11日生
経営者 吉村 忠さん
(美唄市光珠内町)



贈呈式で後継者の皆さんと常勤理事

業に従事した方は4名で、森川組
合長から「新しく農業後継者とな
り歓迎します。初心を忘れず共に
頑張りましょう。」と激励を受け、
北農5連合会長連名の激励状と記
念品の贈呈及び当JAから記念品
が贈呈されました。

新規就農者を紹介します。



有ノ木宏哉さん
平成9年10月3日生
経営者 有ノ木正男さん
(岩見沢市岡山町)



野 優太さん
平成9年4月10日生
経営者 野 隆宏さん
(岩見沢市峰延町)



鈴木達也さん
平成9年3月25日生
経営者 鈴木孝典さん
(美唄市光珠内町)

J A 共済一斉推進終わる

本年度の長期共済一斉推進は、
6月15日(月)から5日間の日程
で実施されました。
例年通りJA職員とJA共済連
の応援2名による2班体制で組合

当JAの香りの畔みちハーブ米
生産に使う、本年度のハーブ苗の
配付が6月19日に農産物検査場所
において行われました。

今年の配付先は、全4戸でうち
3戸が新規ということです。引き
取りに訪れた石川弘樹(光珠内中
央)さんが直ぐに移植すると言う
ので移植の様子もカメラに収めま
した。石川さんはハーブ米を絶や
さないようにしたいと述べていま
した。

本年度のハーブ苗配付

今後は推進期間中にあいにく不
在でお会いできなかつた方を含め
再度訪問いたしますので宜しくお
願いいたします。

在勤の際には、農作業を中断してご
対応いただき感謝を申し上げます。



持ち帰って早速移植です



ハーブ苗を受け取る石川弘樹さん

員宅に出向き推進を行いました。
今回の一斉推進では、仕組改定
のあつた建物更生共済を中心に生
命共済、新登場の特定重度疾病共
済等にご加入いただき、保障額で
14億4137万円の推進結果とな
りました。ご加入に対して厚くお
礼申し上げますと共に各戸への訪

問の際には、農作業を中断してご
対応いただき感謝を申し上げます。

今後は推進期間中にあいにく不
在でお会いできなかつた方を含め
再度訪問いたしますので宜しくお
願いいたします。

令和2年度の 熱中症予防行動

環境省
厚生労働省
令和2年5月

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

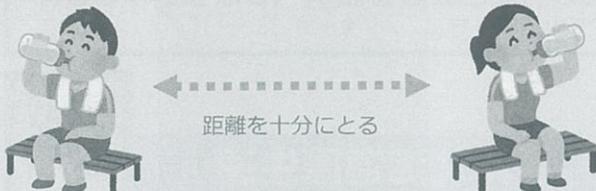
新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう



- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渴く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



JAグループ通信 48

JA北海道中央会



J A グループ北海道では、4月中旬より中止しておりました「国産花き販売会」を、6月5日(金)より感染防止対策に十分配慮した上で、札幌市北農ビル(札幌市中央区北4条西1丁目1番地)で再開いたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントや式典の中止が相次いでおり、国内の花き需要は大幅に減少しています。そこで、JAグループ北海道では「花を贈って応援！みんなのよい花プロジェクト」と題して、「国産花き販売会」の実施により、国内の花き農家を応援しております。販売会は7月末までの毎週金曜日の開催を予定しております。

J A グループ職員のみならず、花が好きな方や花き農家を応援してくださる方、J A グループ北海道を応援してくださる方など、たくさんのお客様にお越しいただいております。引き続き、是非ご自宅にお花を飾り、花き農家を応援していきます。



JA北海道信連



令和元年度に、JAバンクの食農教育活動として、「親子で学ぼう！あぐりキッチン教室」を全道JAの協力を受け、開催しました。その開催目的は、子どもの農業に対する理解を深め、北海道農業やJA・JAバンクのサポーター層を拡大することになりました。



©よりぞう

先ごろ、農協観光の優績JA表彰において、当活動が地域の交流・活性化に寄与したと認められ、地域交流部門の優秀賞を受賞しました。

JA共済連北海道



令和2年度に道内各市町村の消防本部へ寄贈する救急自動車が決定いたしました。救急自動車の寄贈は、地域社会貢献活動の一環として、昭和50年から毎年取り組んでおり、昨年度までに、延べ206台の救急自動車を道内各地の消防本部へ寄贈しております。

今年度は、上川北部消防事務組合消防本部中川消防支署(中川町)、網走地区消防組合消防本部大空消防署(大空町)、大雪消防組合消防本部美瑛消防署(美瑛町)の3か所となります。今後も行政とJAとの連携を図りながら、交通事故の防止と被害者救済への取り組みを強化してまいります。

ホクレン



ホクレンは、北海道日本ハムファイターズと共に同様に北海道農業応援プロジェクトの一環として、同球団選手と道内生産者が交互にメッセージを送り合う「キャッチボールトーク」動画を制作、同プロジェクトの特設サイトに公開しました。登場しているのは、JA道青協の村田辰徳会長、JA道女性協の青山伸子会長ら生産者と、ファイターズの中島卓也、近藤健介両選手らそれぞれ5人ずつで、新型コロナウィルス対策や農作業、トレーニング内容などについて交互に語り、エールを交換し合いました。



JA北海道厚生連



新型コロナウイルスの影響で一時中止しておりました人間ドックですが、すべての病院・クリニックにて再開しました。

一部でご利用いただけないオプション検査もございますが、感染対策の徹底を図っておりますので、安心して受診くださいますようお願いします。



ホームページはこちちらです。
どうぞご覧ください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の
活動内容を紹介します。
各団体の詳しい取り組み内容は
WEBサイトをご覧ください。

